

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回 大内まちづくり協議会
開催日時	令和3年7月26日(月) 午後1時30分～午後4時00分
開催場所	大内農村環境改善センター・ホール、CATVセンター
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	同 上
会議次第 1. 開 会 2. あいさつ 大内まちづくり協議会会長 3. 市長講話 4. 令和3年度主要事業について (1) 大内総合支所主要事業 (2) 第4期提言書 取り組み事業 5. 今後のまちづくりについて 6. 由利本荘市総合防災訓練について 7. その他 8. CATVセンター視察 9. 閉会	
会議の経過	別紙のとおり

大内まちづくり協議会出席者名簿

【大内まちづくり協議会委員】

役職	氏名	出欠
会長	小野 勇	○
副会長	伊藤 廣美	○
委員	東海林 建夫	○
委員	菊地 洋	
委員	長谷部 悟	○
委員	佐々木 好子	
委員	佐々木 良行	○
委員	東海林 菊子	
委員	小松 恒	○
委員	佐々木 奈美子	○
委員	澤木 静子	○
委員	正木 鮎子	
委員	工藤 喜明	
委員	伊藤 晃智	○
委員	堀 鐵三郎	
委員	奥山 恵理子	○
委員	正木 健太郎	
委員	東海林 一郎	○
委員	堀川 千穂美	○
委員	畠山 新光	○

【行政側】

所属	役職	氏名
大内総合支所	総合支所長	伊藤 弘章
総務部	危機管理課長	鎌田 直人
総務部	危機管理課 危機管理班 主査	三浦 友紀
企画調整部	地域振興課長	佐藤 弘幸
大内総合支所	市民サービス課長 兼下川大内出張所長 兼上川大内出張所長	真坂 輝仁
大内総合支所	産業課長	堀 友昭
大内総合支所	建設課長 併企業局大内上下水道事務所 長	佐々木 進一
教育委員会	大内教育学習課長 兼公民館長	今野 正浩
大内総合支所	市民サービス課参事 兼課長補佐	太田 純哉
大内総合支所	市民サービス課 振興班長	鈴木 司
大内総合支所	市民サービス課 振興班 主査	伊藤 優介

*出席委員13名

令和3年度第1回 大内まちづくり協議会 会議の経過（要旨）

令和3年7月26日（月）
午後1時30分～午後4時

1. 開会
- 司会 新型コロナウイルス感染症対策として昨年度後半の会議が中止となったため、「第4期提言書」について、郵送による全委員の内容確認を経て、3月26日付け市長に提出した旨を報告し、今回は、予算などについて意見を伺う機会として市が要請した会議であることを説明。
- 開催要件報告
- 司会 本日の出席委員は13名で、条例第7条第2項の開催要件である委員定数20名の1/2以上を満たす旨を報告。第4期令和3年度第1回大内まちづくり協議会を開会。
2. あいさつ
- 会長 大内まちづくり協議会会長あいさつ
3. 講話
- 市長 市長 講話
- 講話に関して、質疑応答
- 委員 公共施設について。たくさんあり重みになっている。利用度や人口減の問題から、修理して利用を続ける利用価値があるかどうか、廃止を含め地域住民の意見を聞くことも必要と思う。建物の維持管理費を見直しスリム化が必要であり、浮いた予算をハードからソフトへ付け替えるなど工夫してほしい。
- 市長 残すもの、壊すもの、譲るものと、今もやっているが、住民の意見を十分に聞き理解を得ながら、加速化させたい。
- 委員 芋川桜づつみの県庁へのPRについて大変感謝したい。赤田川・川の辻公園には駐車場もトイレもあるため周知したく、この協議会で提言したところ、案内看板を設置していただくこととなった。ありがたい。他にも桜の名所が多数有るので誘客のため駐車場の整備も検討してほしい。
- 市長 芋川桜づつみを散策する等しながら、課題とか利用について考えてみたい。
- 委員 高齢者が多いため高齢者福祉の政策が多いと感じる。少子化対策もあるが、本市では、多産化政策を実施すべきではないか。子どもが少ないことが大きな課題と感じる。「たくさん産みましょう」政策を出来ないか。
- 市長 子育て前の、さらに生まれる前の政策だが、どんな手立てが良いのか、いいアイデアがあれば教えてほしい。どこまで行政で出来るか難しいが、手を貸せるところは貸していきたい。

司会	他に無いため講話終了。市長は他公務のため退席する旨を連絡。議事進行を会長へ依頼。
4. 主要事業	
(1) 大内地域 会長	次第4「令和3年度主要事業について」(1) 大内総合支所主要事業について、大内総合支所へ説明依頼。
	【支所長、市民サービス課長、産業課長、建設課長、教育学習課長、資料に沿って説明】
会長	新年度予算への意見と併せ、質問・意見・発言を委員へ依頼。
副会長	7月の大雨について。いつものようにいつものところに水が上がった。いろいろ工事しているようだが、どのくらいの予定か、まだ続くのか。
建設課	芋川の河川改修工事について説明。北福田橋までの当初事業は完了したが、上流地区で、まだ浸水・冠水しているところがあるため、加賀沢まで計画するなど徐々に上流域の被害を軽減するよう延伸工事を進めている。
委員	工事は、まだまだ続くということか。
会長	芋川の河川改修工事は秋田県の事業。計画している箇所より上流域は、一応ダムで防護されているとのことだった。町内会長会では更なる延伸工事を要望している。しかし、延伸には百億単位の金がかかるとされ、更なる延伸は難しいようだ。さらに地球温暖化で集中豪雨が増えてきており、永久に水が上がらないようにすることは出来ないのではないか、少しでも抑えるように取り組んでいるとのことだった。
委員	教育学習課へ。総合体育館照明工事があるが、工事中は使用できないか、工期は。
教育学習課長	使用できないので、予約の少ない年末付近で、2週間程度と思われる。
会長	他に無いようなので(2)第4期提言書取り組み事業について事務局へ説明依頼。
	【事務局より準備状況について説明】
会長	質問・意見・発言を委員へ依頼。
委員	第4期提言書取り組み事業について。予算はどの程度か。
担当	資料記載(市民サービス課No.4)の通り。
会長	大内魅力発信マップの印刷部数が3,000部とのことだが、増刷できないか。

担当	可能です。専門部会で話しあった部数で、先ほども説明したが、配布先の要望をさらにまとめ、可能な限り要望に応えられるよう検討したい。
5. 今後のまちづくり 会長	他に無いようなので、次へ進行。企画調整部地域振興課へ説明依頼。
	【 地域振興課 資料に沿って説明 】
会長	質問・意見・発言を委員へ依頼。
副会長	新たな組織を作ることだが、私たちの組織は今日で無くなるということか。いいメンバーが集まり、まとまってきたと思っていた。
地域振興課	第4期の任期は今月末までとなっている。そして、第5期は作らず、新たな組織を作り移行していきたい、将来を担う若い世代に、まちづくりに関わっていただきたいと考えている。公募や団体推薦など人選方法は検討している段階です。
会長	全地域の協議会の会長には事前説明するということで、以前支所で説明を受けた。今の組織が良くないということでは無い。さきほど市長への質問で、多産政策があったが、そのような将来を担っていく若い人の意見を聞いて、将来の市政に反映していきたい、今までとは方向を変えていきたいという主旨だったと解釈している。
会長	20代から50代を対象に、公募や各地域の推薦を受けるということですね。
地域振興課	はい。推薦については、例えば、在住者で市外勤務者でも、その会社に行き依頼していきたい。また、人選についても、各地域にお願いしていきたい。
会長	これは、市の方針ですので是非を問う、良い悪いではないが今まで頑張ってきた委員として、提言・提案があれば発言してください。
委員	資料では3年任期のアクションプランまでであるようだが、ボランティア的な団体か、協議会のような形か。このまちづくり協議会では提言書を作ることまでが一つの成果だった。協議会とは異なる別部隊（組織）を作り、具体的に実を結ぶところまで持っていくような実働部隊を作ることと受け止めたが、抽象的なので、予算措置はどうなるのか。
地域振興課	まだ、タタキ台の段階なので、8地域の委員から聴いた意見をまとめて、進めていきたい。
会長	ある篤志家から寄付金があり、意向を反映し若い人を育てて元気ある地域づくりをするための基金となっている。この基金を有効に活用していきたい。
	なかなか難しいテーマ。市の方でしっかりとしたビジョンを持っていなければ、

話し合っても行き場が無くなってしまう。こういった地域をつくっていくのか、市の方できちんと方向付けしないと、せっかく新しく組織し集めて議論しても無駄になるので、十分に注意・配慮すべき。これを「大内まちづくり協議会からのお願い」として報告しておきたい。

地域振興課

了解しました。

委員

資料に、委員数は本荘１５、他地域１０人とあるが、構成は公募２、３、企業等推薦１０とあり、合計が合わない。

地域振興課

タタキ台の段階であり、割合も検討していきたい。

副会長

我々は具体的な話し合いをして動き始めてきた。動き出したところで「貴方方はもう不要。」と言われた感じがする。マップ案も作り、ぽぽろっこ周辺の観光でも看板の他に、鯉のぼりを泳がせることも出来た。新しい組織で新しい方がやれば、また一からの話し合いとなってしまう。若い人の意見を聞くことも必要だが、若い人がちゃんと動けるか心配、本当にどうなるか心配です。

地域振興課

初年度は下地づくりとする計画で、若い人たちだけでは計画的な進行が難しいと思われる。資料にあるとおり、新しい組織と第４期まちづくり協議会のメンバーで交流会を行い、地域の課題などの引き継ぎを行えるように考えている。

委員

「ぽぽろっこ周辺の観光拠点づくり」の提言を行った。大きなテーマだが重要で、大内に必要なまちづくりとして継続して話し合い、第４期まで提言を重ねてきた。今後どのようなようになるのか心配がある。

会長

初年度は下地づくりとして、新しい組織と第４期まちづくり協議会のメンバーで会議を行う引き継ぐ計画のようだが、もう少し工夫してほしい、図式化してほしい。８地域のうち提言していない等の地域は除き、大内のように提言するなど目的通り計画的に、意欲的に取り組んでいる地域のために、きちんとルールやスキームを盛り込んでいただきたい。

地域振興課

了解しました。

会長

他に無いようですので、次へ進行。地域振興課の退席を連絡。

6. 由利本荘市
防災訓練
会長

総務部危機管理課へ説明依頼。

【危機管理課 資料に沿って説明 】

会長

質問・意見・発言を委員へ依頼

副会長	
危機管理課	住民・住宅への連絡方法はどうなっているか。告知放送できないか、当日朝など。
市民サービス課	広報は8月15日号に掲載します。広報車や告知放送、防災行政無線による放送も行う予定です。
委員	支所だよりでも掲載する方向で検討します。
危機管理課	前回、大内を会場とした訓練では、岩谷地区住民に多数参加していただき、初期消火など複数の会場で活動した。今回は、コロナ禍のため、集めないということか。
委員	はい。関係機関との連携強化をメインとしている。
危機管理課	見学は可能か。岩谷小学校は徒歩できる範囲、校庭へ立ち入り見学できるか。
	訓練の様子を知りたい、見学したいという意向を妨げることは出来ない。遠巻きで見学してもらうことになる。なお、当日は出校日となり、授業の一環として児童生徒が訓練に参加する。近隣住民には、出校日と同じ対応をしてほしい。
会長	他に無いようですので、次へ進行。危機管理課の退席を連絡。
7. その他	
会長	その他について、総合支所へ依頼
市民サービス課	新型コロナウイルスワクチン接種について、接種者数と接種率、かかりつけ医による接種について報告。
会長	他にないか、本日発言の無かった委員へ一言ずつ発言依頼。
各委員	・月末で任期満了、残念だが、お疲れ様でした。 ・新しい組織が出来ようだが、遠回しに、今のまちづくり協議会は要らない、と言われた気がした、複雑でした ・この機会、大内のことを学ぶことが出来てたいへん良かった。 ・次の組織に、今までの協議や取り組みがあるので、引き継いでほしい。 ・小野会長等たいへん頑張ってくれたマップ案は良かった。同級生に見せたら、懐かしさを感じてくれて凄く喜ばれた。案だったが、プレゼントした。 ・第4期だけでなく他の立場でも、大内まちづくり協議会委員として関わってきた。まちづくりへの提言を要請されたが、実現する予算は無いと、最初から言われてきた。「まちづくり協議会」とは何だったのか、そして新しい「まちづくり人財育成会議(案)」とは何か、聞いたかったが辞める人間なので発言を控えた。効果はあるのか、その次の組織に掛けたい。ありがとうございました。 ・地域づくり実践者・団体推薦として参画した。少しづつだったが、せっかく意識統一されてきたと思っていたのに、まちづくり協議会が解散とは残念だ。継続が重要だが如何か。切られた感がある。マップづくりも最後まで進め、幽霊マップ

会長

とならないようにしてほしい。

- ・この会で提案した構想が、形は変わったが地域づくり推進事業として、春に実現した。今後も可能な限り続けていきたい。また、関係団体の協力も得たい。
- ・大内の四季散策マップについては、主要事業・市民サービス課の資料の通り予算化されている（公園案内看板との合計額）。さきほどの事務局の説明が、分かりづらかったようだ。
- ・新しい組織づくりが始まるが、若い方で意欲があるならば、手を上げて参画してほしい。私たちは70代なので、次の世代に引き継ぐことになる。若い方の教育のための講師として何かお手伝いできることもあるのではないか。
- ・もし、やる気があるならば、任意団体としてグループを作ってやることも出来る。しかし、事務局をヤル人も大変だし、人を集めることも大変だが、やれないわけではない。今のまちづくり協議会を惜しむ声も多数有るようなので、後で、事務局と相談して皆の意見を聞いてみることも検討してみたい。手に終えなくなるので、会議はこの辺で終了としたい。皆さんの協力・理解を得て無事に終えることが出来た。大変感謝します。

8. 閉会

進行を司会へ。

会長をはじめ出席委員へお礼し、閉会を宣言。